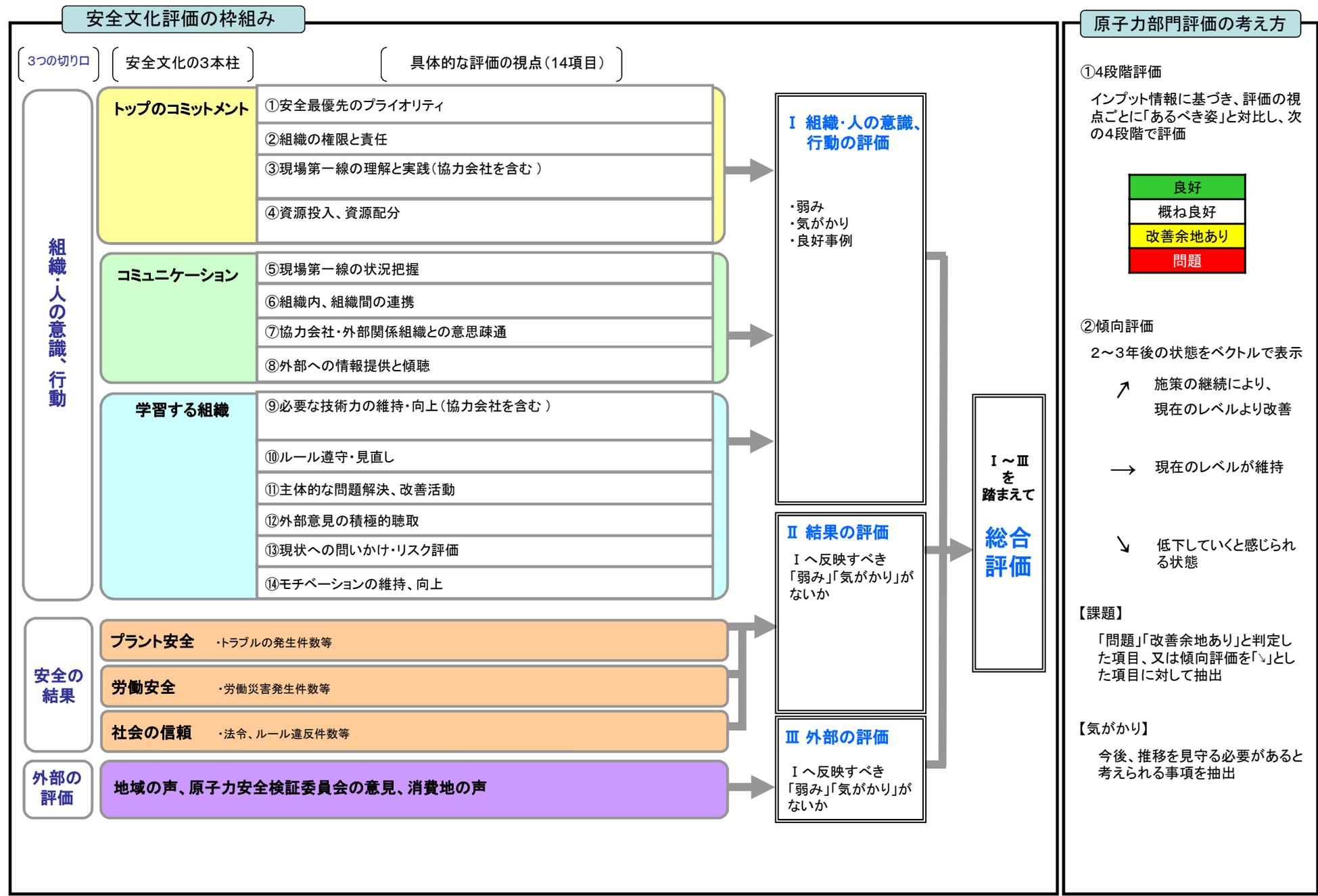


原子力部門の安全文化評価実施  
結果について  
(平成27年度)

平成28年5月30日  
関西電力株式会社

# 平成27年度 安全文化評価結果について


**総合評価**  
  
 I～IIIを踏まえて
 

### 原子力部門評価の考え方

①4段階評価

インプット情報に基づき、評価の視点ごとに「あるべき姿」と対比し、次の4段階で評価

良好
概ね良好
改善余地あり
問題

②傾向評価

2～3年後の状態をベクトルで表示

↗ 施策の継続により、現在のレベルより改善

→ 現在のレベルが維持

↘ 低下していくと感じられる状態

【課題】

「問題」「改善余地あり」と判定した項目、又は傾向評価を「↘」とした項目に対して抽出

【気がかり】

今後、推移を見守る必要があると考えられる事項を抽出

## 平成27年度原子力部門評価結果

評価の視点		H26年度 評価結果	H27年度 評価結果	評価 ●:課題 ◇:気がかり	
組織人の意識・行動	①安全最優先のプライオリティ	概ね良好→	良好→	—	
	②組織の権限と責任	概ね良好→	概ね良好→	◇新規制基準対応業務の責任と権限が適切に調整されていくが注視していく。	
	③現場第一線の理解と実践	社員	改善余地あり▲	改善余地あり▲	●社達を浸透させるための取組みを改善していく必要がある。
		協力会社	概ね良好→	概ね良好→	—
	④資源投入、資源配分	概ね良好→	改善余地あり→	●各所からの要員ニーズに対して、よりタイムリーに要員再配置、駐在・出張応援等を実施することで、再稼働に向けてクリティカルな業務に支障を来たさめよう、対応していく必要がある。 ●上記に加え、長時間労働対策を進めていく必要がある。 ●更に、必要に応じて、補助労働力や関係会社、他部門要員等、事業本部外のマンパワーの活用についても検討していく。	
	⑤現場第一線の状況把握	概ね良好→	概ね良好→	◇社達に記載の安全文化を高めるための事項等の実践状況を注視していく。	
	⑥組織内、組織間の連携	概ね良好→	概ね良好→	◇協力会社アンケート「関西電力は部署をまたがる問題の調整が十分できている」の推移を注視する。 ◇規制委員会コメントを踏まえ、社内の連携が適切に図られていくか注視していく	
	⑦協力会社との意思疎通	改善余地あり▲	概ね良好▲	◇協力会社との意思疎通が継続して適切に図られていくか注視していく。	
	⑧外部への情報提供、傾聴	概ね良好→	概ね良好→	◇廃止措置、40年超運転、安全性向上対策の実施状況など、原子力諸課題については、今後とも丁寧な理解活動を心がける必要がある。 ◇リスクコミュニケーションの取組み状況を注視していく。	
	⑨必要な技術力の維持・向上	社員	改善余地あり▲	改善余地あり▲	●長期プラント停止中であることを考慮した技術力の維持、向上に継続して取り組んでいく必要がある。 ◇新規制基準への対応に必要な技術力の維持、向上等は、高浜発電所の取組みが定着していくとともに、美浜・大飯発電所に適切に展開されていくか注視していく
		協力会社	概ね良好→	概ね良好→	◇プラント長期停止状態においても、協力会社の力量が維持、向上されていくか注視していく。
	⑩ルール遵守・見直し	概ね良好→	概ね良好→	◇新規制基準を反映した社内ルールについて、実効性があり、運用しやすいルールに見直されていくか注視していく。	
	⑪主体的な問題解決・改善活動	概ね良好→	概ね良好→	—	
	⑫外部意見の積極的聴取	概ね良好→	概ね良好→	—	
⑬現状への問いかけ・リスク評価	概ね良好→	概ね良好→	◇労働災害の発生状況を踏まえた、労働災害防止のための対策が実施されていくか注視していく		
⑭モチベーションの維持向上	概ね良好→	改善余地あり▲	●大津地裁の高浜3・4号機再稼働禁止の仮処分決定を踏まえた、社員および協力会社社員のモチベーションを維持・向上させる方策を実施する必要がある。		
安全の結果	プラント安全	—	—	◇これまで実施してきたトラブル未然防止活動の継続的な実施とともに、再稼働したプラントも考慮した安全性を向上、またはリスクを除去・低減させる活動が実施されていくか注視していく	
	労働安全	—	—	◇労働災害の発生状況を踏まえた、労働災害防止のための対策が実施されていくか注視していく	
	社会的信頼(コンプライアンス)	—	—	◇保安検査の6件の監視事項に関しては、再発防止対策を実施しており、同様の事象が発生しないか注視していく。	
外部の評価		—	—	◇廃止措置、40年超運転、安全性向上対策の実施状況など、原子力課題について、地域の皆さまに適時適切かつ丁寧な理解活動を行う必要がある。(視点⑧)	

### H28年度の重点施策の方向性

**継続**  
「社達」の更なる浸透(安管G)

**新規**  
再稼働に係る業務による職場繁忙に対する健康の維持・管理方策の検討実施(人活G)

**継続**  
長期プラント停止後の再稼働に向けた技術力・体制の確保(原企G(人活G、発電G、放管G、燃保G、保修管理G))

**新規**  
大津地裁の仮処分決定を踏まえた、社員および協力会社社員のモチベーションを維持・向上させる方策の実施(原企G、人活G)

H28年度重点施策の策定  
(重点施策の具体化は次年度計画策定時に実施)

### 総合評価

3つの切り口の評価を総合すると、全体として昨年度と同程度の概ね良好な評価であった。  
また、安全文化を高めていくうえで取り組むべき課題を抽出でき、今後重点的に取り組む必要があることを確認した。